

ことば

1. つとめます II [かいしゃに～]	勤めます [会社に～]	〔在公司〕工作
2. やすみます I	休みます	睡覺
3. かけます II [いすに～]	掛けます	坐〔在椅子〕上
4. すごします I	過ごします	度過，過
5. よります I [ぎんこうに～]	寄ります [銀行に～]	順路去〔銀行〕
6. いらっしゃいます I		在，來，去（います、いきます、きます的尊敬語）
7. めしあがります I	召し上がります	吃，喝（たべます、のみます的尊敬語）
8. おっしゃいます I		說（いいます的尊敬）
9. なさいます I		做（します的尊敬語）
10. ごらんに なります I	ご覧に なります	看（みます的尊敬語）
11. ごぞんじです	ご存じです	知道（しって います的尊敬語）
12. あいさつ		問候，寒暄（～を します：問候）
13. はいざら	灰皿	煙灰缸
14. りょかん	旅館	旅館
15. かいじょう	会場	會場
16. バステイ	バス停	公車站
17. ぼうえき	貿易	貿易
18. ～さま	～様	（～さんの尊敬語）
19. かえりに	帰りに	回來（去）的途中
20. たまに		偶而
21. ちっとも		一點也不（用於否定）
22. えんりょなく	遠慮なく	不客氣

会話

…年…組

では

出します [熱を～] ！

よろしく お伝え ください。

失礼いたします

※ひまわり小学校

…年…班

那麼（じゃ的禮貌說法）

發（燒）

請代我問好。

告辭了（しつれいします的謙遜話）

向日葵小學（虛構的小學名）

…読み物…

講師

多くの～

作品

受賞します III

世界的に

作家

～で いらっしゃいます I

長男

障害

お持ちです

作曲

活動

それでは

講師

很多的～

作品

獲獎

世界性

作家

是（です的尊敬語）

長子

障礙，障礙物

有（もつて います的尊敬說法）

作曲

活動，行動

那麼

※大江 健三郎

※東京大学

※ノーベル文学賞

大江健三郎（日本作家，1935～）

東京大學

諾貝爾文學獎

文型

1. 課長は もう 帰られました。
2. 社長は もう お帰りに になりました。
3. 部長は アメリカへ 出張なさいます。
4. しばらく お待ち ください。

例文

1. この 本は 読まれましたか。
…ええ、もう 読みました。
2. すみません。 その 灰皿、お使いに になりますか。
…いいえ、使いません。 どうぞ。

3. よく 映画を ご覧に なりますか。
…いいえ。 でも、たまに テレビで 見ます。
4. 小川さんの 息子さんが さくら大学に 合格したのを
ご存じですか。
…いいえ、ちっとも 知りませんでした。
5. 飲み物は 何を 召し上がりますか。
遠慮なく おっしゃって ください。
…じゃ、ビールを お願いします。
6. 松本部長は いらっしゃいますか。
…ええ、こちらの お部屋です。 どうぞ お入り ください。

会話

よろしく お伝え ください

- 先生： はい、ひまわり小学校です。
クララ： おはよう ございます。
5年2組の ハンス・シュミットの 母ですが、伊藤先生は
いらっしゃいますか。
- 先生： まだなんですが……。
クララ： では、伊藤先生に 伝えて いただきたいんですが……。
- 先生： はい、何でしょうか。
クララ： 実は ハンスが ゆうべ 熱を 出しまして、けさも まだ
下がらないんです。
- 先生： それは いけませんね。
クララ： それで きょうは 学校を 休ませますので、先生に よろしく
お伝え ください。
- 先生： わかりました。 どうぞ お大事に。
クララ： 失礼いたします。



Ninety Pin

練習 A 同被動形(受身形), 借用其格式 ⇒ 尊敬語 (語意只有動詞原本語意, 無被動之意。)

1.					尊敬							尊敬		
	I	聞	き	き	ます	き	か	れます	II	掛	かけ	ます	かけ	られます

急読呼帰会待話	い	そ	ぎ	ます	い	そ	が	れます
	よ	み	ます		よ	ま	れます	
	よ	び	ます		よ	ば	れます	
	か	え	り	ます	か	え	ら	れます
	あ	い	ます		あ	わ	れます	
	ま	ち	ます		ま	た	れます	
	は	な	し	ます	は	な	さ	れます

出張 起降	出	で	ます	で	ら	れます
	お	き	ます	お	き	られます
	お	り	ます	お	り	られます

				尊敬	
III	来	き	ます	こ	られます
		し	ます	さ	れ ます

2. 伊藤先生は さっき 出でかけられました。
あしたは 来こられません。

3. 社長は もう お帰かえり になりました。
休やすみ

*帰ます → お休みになりました

ワI, II類去「ます」, 部份(四類也可) * ご Ⅲ類V. になる。

4. どうぞ こちらに お掛かけ ください。
入はいり

* お電話される (不能になる形式)

ワI, II類

	(P138) 尊敬語
いきます	いらっしゃいます
きます	
います	
たべます	めしあがります
のみます	
いいます	おっしゃいます
しって います	ごぞんじです
みます	ごらんになり ます
します	なさいます
くれます	くださいます

原形
いらっしゃる

召し上がる

おっしゃ
仰る

ご覧になる

なさる

くださる

6. 社長は もう 会議室へ いらっしゃいました。
ゴルフを なさいます。

練習 B

1. 例: 社長は もう 帰りました
→ 社長は もう 帰られました。

1) 部長は 来週 インドへ 出張します → ~出張されます。

2) 課長は もう 資料を 読みました → ~読まれました。





3) 社長は すばらしい うちを 建てました → ~建てられました。

4) イーさんは 8時ごろ 研究室へ 来ます → ~来られます。

2. 例: きの中の 会議に 出ましたか (はい)





→ きのうの 会議に 出られましたか。

……はい、出ました。

- 1) もう 花見に 行きましたか (はい) →  ~行かれ~か。…はい、行きました。
- 2) どのくらい 夏休みを 取りますか (2週間) →  ~取られ~。…2週間取ります。
- 3) いつ 大阪に 引っ越ししますか (来週の 日曜日) →  ~されますか。…~。
- 4) お酒を やめたんですか (はい) →  ~やめられたん~。…はい、やめました。

3. 例： 先生は 新しい パソコンを 買いました





→ 先生は 新しい パソコンを お買いに になりました。

- 1) 部長は たばこを 吸いませぬ →  ~お吸いになりませぬ。
- 2) この 料理は 松本部長の 奥様が 作りました →  ~お作りに~。
- 3) この 本は 社長が 書きました →  ~お書きになりました。
- 4) 会議の 予定は いつも 部長が 決めます →  ~お決めになります。

4. 例： いつ 佐藤さんに 会いましたか (きのう)





→ いつ 佐藤さんに お会いに になりましたか。

……きのう 会いました。

- 1) バス停の 場所が わかりますか (いいえ) →  ~お分りになりましたか
- 2) 疲れましたか (ええ、ちょっと) →  お疲れに~か。
- 3) 日光では どんな 所に 泊まりましたか (古い 旅館) →  ~お泊り~か。
- 4) どちらで お金を 換えますか (空港の 中の 銀行) →  ~お換えに~か。





5. 例： この ボールペンを 使って ください

→ この ボールペンをお使い ください。

- 1) 新しい 住所を 知らせて ください →  ~お知らせください。
- 2) いい 週末を 過ごして ください →  ~お過ごしください。
- 3) 帰りに 寄って ください →  ~お寄りください。
- 4) 部屋の 番号は 係の 者に 確かめて ください →  ~お確かめください。




6. 例： どのくらい 日本に いらっしゃいますか。 (3年)

→ 3年 います。

- 1) どちらへ 旅行に いらっしゃいますか。 (北海道) →  ~へ行きます。
- 2) あの 映画は もう ご覧に になりましたか。 (はい) →  はい、もう見ました。
- 3) お酒は 召し上がりますか。 (はい、たまに) →  はい、たまに飲みます。
- 4) お子さんの お名前は 何と おっしゃいますか。 (花子) →  花子といます。

7. 例： 田中さんは もう 来ましたか

→ 田中さんは もう いらっしゃいましたか。

- 1) 松本さんは どちらに いますか →  ~いらっしゃいますか。
- 2) 奥様は 何を 飲みますか →  ~召し上がりますか。
- 3) 社長は 来週の 忘年会の ことを 知って いますか →  ~ご存知ですか。

- ～にいらしゃると。

れん しゅう
練習 C

-

-

-



3. 例： 社長は 何か スポーツを (されます) か。
…ゴルフを します。

- 1) 部長の 奥様も ごいっしょに ゴルフに (行かれます) か。
…ええ、たまに いっしょに 行きます。
- 2) 先生は 来週の 国際会議で 何に ついて (話されます) か。
…日本の 将来に ついて 話します。
- 3) 課長は 何時ごろ (戻られます) か。
…3時ごろ 戻ります。
- 4) おじい様は 何歳に (なられます) か。
…ことし 82歳に なります。

4. 例： この 本を 書いたのは だれですか。
…わたしの 研究室の 先生が (お書きに なりました) 。

- 1) 車を 呼んだのは だれですか。
…部長が (お呼びになりました) 。
- 2) この 料理を 作ったのは だれですか。
…部長の 奥様が (お作りになりました) 。
- 3) この 傘を 忘れたのは だれですか。
…伊藤先生が (お忘れになりました) 。
- 4) 新しい 製品の 名前を 決めたのは だれですか。
…社長が (お決めになりました) 。

5. 例： 先生は 今度の 旅行に (いらっしゃいます) か。
…いいえ、わたしは 行きません。

- 1) 部長、けさの テレビの ニュースを (ご覧になりました) か。
…うん、見たよ。
- 2) 先生、飲み物は 何に (なさいます) か。
…ビールに します。
- 3) 課長、あの 人を (ご存じです) か。
…うん、知って いるよ。
- 4) 先生のご両親は どちらに (いらっしゃいます) か。
…北海道に います。

6. 例： 係の 者に 聞いて 来ますので、ちょっと (お待ち ください) 。

- 1) 皆様 お待たせしました。どうぞ 会場に (お入りください) 。
- 2) お国へ 帰られたら、ご家族の 皆様に よろしく (お伝えください) 。
- 3) すみませんが、この 書類に お名前と ご住所を (お書きください) 。
- 4) どうぞ そちらの いすに (お掛けください (お座りください)) 。

きょうの 講師は 大江健三郎さんです。 大江さんは 1935年、愛媛県で
 お生まれに になりました。 東京大学を 卒業され、多くの 文学作品を
 お書きに になりました。 1994年には ノーベル文学賞を 受賞され、
 世界的に 有名な 作家で いらっしゃいます。
 ご家族は 奥様 と 3人の お子様が いらっしゃいます。 ご長男の
 光さんは 障害を お持ちですが、音楽が お好きで、作曲を して
 いらっしゃいます。 大江さんは 光さんの 音楽活動の
 ために、いろいろ 手伝って いらっしゃいます。
 そして、光さんから 教えられた ことが たくさん
 あると おっしゃって います。 きょうは 「子どもに
 教えられた こと」に ついて お話を して
 いただきます。
 それでは 大江先生、どうぞ。



- 1) (○) 大江さんの 名前は 世界中の 人に 知られて います。
- 2) (○) 大江さんは すばらしい 本を 書いて、ノーベル賞を
もらいました。
- 3) (×) 光さんは 大学で 音楽を 教えて います。
- 4) (×) きょうの お話は 「子どもと 文学」に ついてです。

文法

1. 敬語 (敬語)

在第49課和第50課中要學習「けいご」。所謂「けいご」就是說話人對聽話人或
 話題中的人表示敬意的語言現象。說話人在社會關係中，對應該表示敬意的人就
 必須使用「けいご」。「けいご」的使用由以下三個主要因素來決定。

(1) 說話人的年齡或社會地位處於下方，要對上面的人表示敬意時使用「けいご」。
 (2) 初次見面時、說話人和聽話人的關係不親密時、要對聽話人表示敬意時用「
 けいご」。 (3) 「ウチ-ソト」的關係也是在使用「けいご」時必須考慮的。「ウ
 チ」是指家人、公司等自己所屬的集團，「ソト」則是指自己圈子外的人。說話
 人向「ソトの ひと (外人)」陳述「ウチの ひと (內部的人)」的情況時，
 將「ウチの ひと」視同說話人一樣。因此，即使「ウチの ひと」是地位高的
 人也不能為了對那個人表示敬意而使用「けいご」。

2. 「敬語」的種類

「けいご」中有「そんけいご」(尊敬語)、「けんじょうご」(謙遜語)和「
 ていねいご」(禮貌語)三種。我們在第49課中要學習「そんけいご」。

3. 尊敬語 (尊敬語)

「そんけいご」是為了對聽話人及話中的人表示敬意，用於表達聽話人及話題中課:49 (頁:9/10)
人的行為及狀態。對所有物等可以視為屬於那個人的物體及人時均可使用。

1) 動詞

(1) 尊敬動詞 (參考進階 II 本冊126頁第49課練習A1)

被動動詞的形式也可作為尊敬動詞用。屬於第二類動詞。

- ① 中村さんは 7 時に 来られます。 中村先生 7點鐘會來。
② お酒を やめられたんですか。 您戒酒了嗎？

(2) お動詞 ます形に なります

與使用 (1) 的尊敬動詞相比，用這個形式的敬意和禮貌程度都要更高一些。「みます」「ねます」等ます形的1音節動詞和第三類動詞不能用這個形式，另外，(3) 中提出的可以用特殊尊敬動詞替換的動詞就用特殊尊敬動詞形式。

- ③ 社長は もう お 帰りに になりました。 總經理已經回去了。

(3) 特殊尊敬語 (參考進階 II 本冊126頁第49課練習A5)

有一些動詞有尊敬的意思，表示和 (2) 相同程度的敬意。

- ④ ワット先生は 研究室に いらっしゃいます。 瓦特老師在研究室裡。
⑤ どうぞ 召し上がって ください。 請用吧。

〔註〕「いらっしゃいます」「なさいます」「くださいます」「おっしゃいます」屬於第一類動詞，活用時除ます形以外按ら行變化。

- ⑥ ワット先生は テニスを なさいますか。 瓦特老師打網球嗎？
…いいえ、なさらないと 思います。 …不，我想他不打。

(4) お動詞 ます形 ください

是向對方請求、勸誘時表示敬意的句型。

- ⑦ あちらから お 入り ください。 請從那裡入內。

〔註〕(3) 的特殊動詞不能用這種形式，但是「めしあがります」可用「おめしあがり ください」、「ごらんになります」可用「ごらん ください」的形式。

2) 名詞、形容詞、副詞

除了動詞之外，部分名詞、形容詞和副詞在語頭加上「お」或者「ご」也可以成為「そんけいご」。加「お」還是「ご」是由那個詞本身決定的。一般來說，「お」加在日本固有的詞前面，「ご」加在從中國語引進的詞前面。

加「お」的詞例：	加「ご」的詞例：
(名詞) お国、お名前、お仕事	(名詞) ご家族、ご意見、ご旅行
(な形容詞) お元気、お上手、お暇	(な形容詞) ご熱心、ご親切
(い形容詞) お忙しい、お若い	(副詞) ご自由に

4. 「敬語」和文體

「けいご」中也不只有禮貌形還有普通形。普通形用在句尾也就成了常體的句子。在關係親密的人對話中，若話題中出現的人是應該表示敬意的人時，可使用這個句子。

- ⑧ 部長は 何時に いらっしゃる？ 經理什麼時候到？

5. 句子的一貫性

使用「けいご」的時候，句中的其他詞也要一致用敬語表達方式，使禮貌的程度一致。

⑨部長の ^{ぶ ちょう} 奥様も ^{おく さま} ごいっしょに ゴルフに 行かれます。

經理夫人也一起去打高爾夫球。

⑨中為了讓句中的禮貌程度一致，將「おくさん」「いっしょに」「いきます」全部改變，用了「おくさま」「ごいっしょに」「いかれます」。

6. ～まして

在想禮貌地講話時可以將動詞て形改成動詞ます形まして。使用「けいご」的句子中，為了讓句中的禮貌程度一致，經常使用「～まして」。

⑩ハンスが ゆうべ ^{ねつ} 熱を 出しまして、けさも まだ ^さ 下がらないんです。

漢斯昨晚就發燒了，到今天早上還沒有退。